12 月 27 日：ベトナム株は好材料で上昇の見込み

ベトナム株は上昇した。安定したマクロ経済と世界の社会経済の発展による恩恵を受けてものだった。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.51%上昇し 963.51 ポイントで取引を終えた。

同指数は週間ベースで 0.74%ほど上昇した。

先週の平均出来高は 2 億 3220 万株で売買代金にして 4.2 兆ドンであった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.27%ほど上昇し 102.60 ポイントで取引を終えた。

同指数は先週 0.18%上昇した。

バオベト証券のアナリストである Tran Xuan Bach 氏によると、今週も上昇が見込めるとのことだった。

VN 指数は 969-972 ポイントに向かって上昇が見込まれる。しかしながら、指数はまず 960-961 ポイントの抵抗線まで下がってから上昇すると同社は予想している。セクターによってまちまちの動きになるだろうと語った。

同氏は年初にかけて外国からの資金フローに期待ができると予想している。

ベトナムと海外のポジティブな点は安定した経済成長が株式市場の上昇を支えていることである。

GSO によると、2019 年の GDP は 7.02%に達し、目標であった 6.6-6.8%を超えたとのことだった。2018 年よりは低いが 2011-2017 年よりも高い水準であった。

総投資は 13%上昇、公共投資が寄与した。プライベートセクターと海外からの投資は 2019 年と同水準だと予想されている。

GDP の成長は 2020 年にわずかに鈍化するが、安定と言える水準になると予想しているとバオベト証券の Khieu Trong Huy 氏は語った。

米中は米国は中国製品への関税を減らし、中国は米国の農業品、エネルギーなどのコモディティを購入することで、第一段階の合意に達した。

投資家は米中の第一段階のサインは近く、そのことが 2020 年の株式市場の上昇モメンタムになると期待している。

先週大きく上昇したのは、ベトナム投資開発銀行（BID）、ベトコムバンク（VCB）、マッサングループ（MSN）などであった。BID は 8%ほど上昇し VN 指数に 4 ポイントほど寄与した。

テクコムバンク（TCB）、ベティンバンク（CTG）、ＨＤバンク（HDB）、VP バンク（VPB）といった銀行株は軒並み上昇した。

不動産も好調。ナムロンインベストメント（NLG）、カンディエンハウス（KDH）、ノバランド不動産（NVL）、ファットダット不動産（PDR）、ダットサイン不動産（DXG）などは上昇した。

一方、飲食料品セクターは下落。サイゴンビール（SAB）、ビナミルク（VNM）、GTN フード（GTN）、ビナカフェビエンホア（VCF）は下落した。

株式への投資比率は 30-40%にするべきだと Bach 氏は語った。

946-951 ポイントで購入した投資家は 969-972 ポイントの抵抗線で一部売却を考えるだろうと思われる。

もしもこの抵抗線を無事に通過出来れば、投資家は株式への投資比率を引き上げることが期待される。セクターとしては、不動産、小売、鉄鋼、石油、IT をすすめると Bach 氏は語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。